



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月3日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 柴田 卓 (TEL) 03-3985-2020  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	224,978	1.5	22,722	△8.5	29,097	△5.8	18,705	△4.8
27年3月期第3四半期	221,759	△2.7	24,835	△31.9	30,891	△29.5	19,640	△29.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 19,940百万円 (△37.2%) 27年3月期第3四半期 31,754百万円 (△25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	230.74	230.61
27年3月期第3四半期	242.26	242.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	789,243	664,019	82.3
27年3月期	768,092	653,242	83.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 649,521百万円 27年3月期 639,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
28年3月期	—	50.00	—		
28年3月期 (予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	290,000	△0.2	27,000	△15.6	35,000	△11.6	21,500	△12.3
								265.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	90,139,653株	27年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	9,075,854株	27年3月期	9,077,497株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	81,065,004株	27年3月期3Q	81,069,908株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のOTC医薬品市場は、ドリンク剤、鼻炎治療剤などの一部のcategorieで前年を下回ったものの、殆どのcategorieで消費増税駆け込み需要反動減の影響を受けた前年に比較してプラスとなり、総体的に堅調に推移しました。

医薬事業につきましては、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策が浸透しつつあり、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域にも積極的に取り組み、生活者のニーズを満たす製品の開発を進めています。また、販売面ではマーケティングと営業活動の連動性を高め、需要を創造する活動を強化するとともに、通信販売等新チャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品事業とドリンク剤事業を積極的に展開しております。

医薬事業部門でも、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と国内外の企業からの有望候補物質の導入を進め、開発パイプラインの充実に努めております。

当第3四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、2,249億7千8百万円（前年同四半期比+32億1千8百万円、1.5%増—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	1,388億円	(+ 39億円)	2.9%増)
内訳			
国内	1,145億円	(+ 15億円)	1.3%増)
海外	222 "	(+ 25 "	12.5%増)
その他	21 "	(△ 1 "	4.0%減)
医薬事業	862億円	(△ 6億円)	0.7%減)
内訳			
医療用医薬品	848億円	(△ 1億円)	0.1%減)
中間製品等	10 "	(△ 6 "	39.6%減)
工業所有権等使用料収益	4 "	(+ 1 "	40.6%増)

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、1,388億円（+39億円、2.9%増）となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、主力の「リポビタンD」が前年を下回り（3.3%減）、シリーズ全体では490億円（2.9%減）となりました。「パブロンシリーズ」は、主力の総合かぜ薬や鼻炎治療剤がともに前年比マイナスとなり、シリーズ全体では180億円（1.7%減）となりました。発毛剤「リアップシリーズ」は、堅調に推移し、シリーズ全体で126億円（13.6%増）となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外O T C医薬品事業は136億円（11.5%増）となりました。

<医薬事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、862億円（△6億円、0.7%減）となりました。

主な増収品目は、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」228億円（10.7%増）、骨粗鬆症治療剤「エディロール」152億円（20.5%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」37億円（46.2%増）でした。一方、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は92億円（9.0%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は49億円（10.7%減）と、後発医薬品の影響等もあり前年比マイナスとなりました。なお、2型糖尿病治療薬「ルセフィ」は7億円（70.6%減）となりました。

利益面につきましては、広告宣伝費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は227億2千2百万円（8.5%減）、経常利益は290億9千7百万円（5.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は187億5百万円（4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ212億円増加し、7,892億円となりました。投資有価証券が57億円、建物及び構築物（純額）が22億円それぞれ減少しましたが、受取手形及び売掛金が181億円、有価証券が116億円それぞれ増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ104億円増加し、1,252億円となりました。賞与引当金が11億円減少しましたが、支払手形及び買掛金が37億円、未払金が39億円、繰延税金負債が20億円それぞれ増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ108億円増加し、6,640億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益187億円、その他有価証券評価差額金55億円が主な増加要因であり、剰余金の配当89億円、為替換算調整勘定58億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績等をふまえ、平成27年5月13日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

ー売上高

売上高予想を従来の予想から50億円引き下げ、2,900億円に修正いたします。

セルフメディケーション事業では、主に国内市場における売り上げの状況をふまえ、「リポビタンシリーズ」の下方修正、「リアップシリーズ」の上方修正などを織り込み、従来の予想から2億円引き上げます。

医薬事業では、SGLT2阻害剤市場の拡大ペースが当初の予想よりも弱いことを受け「ルセフィ」を下方修正するほか、「ゾシン」において後発品発売の影響が当初想定よりも大きくなることなどを見込み、従来の予想から52億円引き下げます。

ー利益面

利益面につきましては、売上高予想引き下げにより売上総利益が減益となりますが、主に医薬事業で開発計画の見直しなどにより研究開発費の予想を引き下げたことにより、営業利益は270億円、経常利益は350億円と、従来予想を据え置きます。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、法人税等の見直しにより従来予想を5億円引き下げ、215億円に修正いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	159,587	165,840
受取手形及び売掛金	80,321	98,443
有価証券	10,038	21,591
商品及び製品	16,925	15,952
仕掛品	1,956	1,108
原材料及び貯蔵品	8,427	8,057
繰延税金資産	6,337	6,077
その他	5,663	6,304
貸倒引当金	△175	△84
流動資産合計	289,081	323,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,109	46,941
機械装置及び運搬具(純額)	8,692	7,472
土地	37,500	37,536
建設仮勘定	693	2,987
その他(純額)	4,370	3,622
有形固定資産合計	100,366	98,559
無形固定資産		
のれん	22,093	19,217
販売権	5,932	4,989
商標権	14,977	12,433
ソフトウェア	1,652	1,977
その他	589	545
無形固定資産合計	45,244	39,164
投資その他の資産		
投資有価証券	264,642	258,951
関係会社株式	54,684	55,160
長期前払費用	738	652
退職給付に係る資産	7,003	7,211
繰延税金資産	5,615	5,568
その他	922	936
貸倒引当金	△206	△253
投資その他の資産合計	333,399	328,228
固定資産合計	479,010	465,952
資産合計	768,092	789,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,133	32,841
未払金	14,769	18,679
未払法人税等	3,254	3,180
未払費用	10,647	11,156
返品調整引当金	526	1,086
賞与引当金	3,947	2,877
その他	1,951	2,941
流動負債合計	64,230	72,763
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,432	1,197
退職給付に係る負債	22,385	22,771
繰延税金負債	19,536	21,530
その他	7,265	6,961
固定負債合計	50,619	52,461
負債合計	114,849	125,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,269	15,271
利益剰余金	609,706	619,487
自己株式	△57,643	△57,653
株主資本合計	597,332	607,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,054	45,589
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	5,744	△57
退職給付に係る調整累計額	△3,373	△3,115
その他の包括利益累計額合計	42,424	42,416
新株予約権	298	357
非支配株主持分	13,186	14,141
純資産合計	653,242	664,019
負債純資産合計	768,092	789,243

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	221,759	224,978
売上原価	84,538	88,013
売上総利益	137,220	136,965
返品調整引当金戻入額	515	520
返品調整引当金繰入額	680	1,098
差引売上総利益	137,055	136,387
販売費及び一般管理費	112,219	113,665
営業利益	24,835	22,722
営業外収益		
受取利息	3,974	4,028
受取配当金	1,262	1,379
持分法による投資利益	322	432
その他	630	647
営業外収益合計	6,189	6,487
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	67	68
その他	64	42
営業外費用合計	133	111
経常利益	30,891	29,097
特別利益		
固定資産売却益	1,025	15
特別利益合計	1,025	15
特別損失		
固定資産処分損	375	112
関係会社清算損	39	—
特別損失合計	415	112
税金等調整前四半期純利益	31,501	29,001
法人税等	10,472	8,977
四半期純利益	21,029	20,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,388	1,318
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,640	18,705

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	21,029	20,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,284	5,399
為替換算調整勘定	1,568	△5,908
退職給付に係る調整額	514	252
持分法適用会社に対する持分相当額	358	173
その他の包括利益合計	10,725	△83
四半期包括利益	31,754	19,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,274	18,696
非支配株主に係る四半期包括利益	1,479	1,244

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	134,915	86,843	221,759	—	221,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	134,915	86,843	221,759	—	221,759
セグメント利益(注2)	23,012	2,706	25,719	△883	24,835

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	138,782	86,195	224,978	—	224,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	138,782	86,195	224,978	—	224,978
セグメント利益(注2)	21,103	2,591	23,694	△972	22,722

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。